

学校だより



川西市立多田小学校

11 月号 令和元年 11 月 1 日

学校HP : <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

◎修学旅行に行ってきました！

10 月 16・17 日と、6 年生は修学旅行に行ってきました。

両日ともお天気に恵まれ、平和公園や宮島など、すべての活動を予定通り行うことができました。

修学旅行の目的のひとつは、広島での平和学習でした。

一日目、新幹線で広島駅に到着し、広島電鉄に乗り平和公園へ向かいました。原爆資料館では、見学の前に被爆証言者の近藤康子さんにお話をしていただきました。とても悲しい、つらい体験談に聞き入ったひと時でした。お話をいただいた後、子どもたちは、お礼と平和への願いを込めて、「ひろしまの或る国で」を歌いました。とてもきれいな歌声が会場内に響き渡りました。原爆資料館では、原爆の被害の様子やすさまじさを示す資料を数多く見ました。子どもたちは、真剣な表情で見学していました。

平和公園では、原爆資料館だけではなく、様々な慰霊碑を見てまわりました。このほか、本川小学校や袋町小学校の資料館にも見学に行きました。そして、夜、宿舎でこの日学習したことを班ごとに交流する学習交流会を行いました。子どもたちは、戦争や平和に対する自分の感じたことや考えたことをしっかり発表していました。子どもたちは、広島を訪れ平和について学習した一人として『平和』への思いをより強くしたことと思います。

二日目は、宮島で厳島神社の見学や買い物などを行いました。たくさんのお土産をした二日間。修学旅行で学んだことを、これからの学校生活に生かしてくれることを願っています。



◎一冊の本、そして一本のペン、それで世界を変えられます

みなさんは、「自分の言葉の力」について考えたことがありますか。一人の人間の勇気ある言葉で世界を変えることができる、そんな未来に希望を持って生きている人の言葉を紹介합니다。2014 年、史上最年少の十七歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの言葉です。マララ・ユスフザイさんは、2012 年 10 月 9 日、パキスタン北西部のスワートで、中学校から帰る途中、武装グループの男に銃で頭を撃たれ、意識不明の重体になりました。しかし、マララさんは、奇跡的に回復します。そして、2013 年 7 月 12 日、ニューヨークの国連総会の演説で、「(武装グループに銃撃を受けたことで)私の人生で変わったものは、何一つありません。ただ、次のものを除いてです。それは、私の中の弱さ、恐怖、絶望が死にました。かわって、強さ、力、勇気が生まれました」と、そして、「教育こそがただ一つの解決策です」と話し、銃撃されてからも、勇気をもって世界中の人に、すべての子どもに教育を確実に与えることを訴えています。

では、どうして、15 歳のマララさんは、銃撃されたのでしょうか。マララさんの住むパキスタンのスワートでは、女の子が学校へ行くことを禁止しています。しかし、マララさんは学校へ行くことを禁止した武装グループを批判し、教育を受ける権利を主張し続けたために銃撃されたのです。世界には他の国でも、例えばインドでは大勢の貧しい子どもが学校へ行かせてもらえず、小さい時から働かされています。ナイジェリアでは、教育は子どもには必要ないといって、学校が壊されています。アフガニスタンでは、女の子が学校へ行く代わりに家事をさせられています。

このように、世界には、学校へ行きたくても行けない、学校で学びたくても学べない子どもたちが多くいます。マララさんのこのメッセージは、世界中の多くの人たちが共感し、2013 年 10 月 10 日に欧州議会から、人権や表現の自由を守る活動をたたえるサハロフ賞を受賞しました。翌年の 2014 年 10 月、マララさんは、17 歳でノーベル平和賞を受賞します。そのとき、「この賞は、終わりではなく、始まりにすぎない」と語っています。マララさんの「世界の全ての子どもに教育を」と訴えるメッセージ「一冊の本、そして一本のペン、それで世界を変えられます」は、学校へ行けない世界中の子どもたちに勇気を与えています。「一冊の本、一本のペン」を持つこと、それは、「自分の言葉で考え、自分の言葉で気持ちを伝えることができる力を持つこと」です。学ぶことは、自分の可能性であり希望であり、変革です。マララさんの言葉から、未来の自分への挑戦をスタートさせてほしいと願っています。

◎創立記念日！

11 月 5 日は多田小学校、141 回目の創立記念日を迎えます。

明治 12 年 11 月 5 日に新田・平野・東多田の三村と多田院・西多田・矢間の三村が合併し、そこに柳谷・芋生・若宮の三村を加え多田村新田に多田小学校が設立されました。そして、昭和 29 年市制実施により川西市立多田小学校と改称されました。

昭和 53 年には児童数が 1000 人を超え、昭和 57 年には 1461 人にもなりました。現在の児童数は 504 人です。

多田小学校がこんなに長い歴史を刻み、発展してきたのは、多くの先輩方の努力、地域や保護者のみなさまの協力や願いの賜物です。創立記念日は、まさに「温故知新」、故(ふる)きを温(たず)ねて、新(あた)らしきを知る機会でもあります。

11 月 5 日は、意義ある節目の日として迎えてほしいと思います。

※日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。

